

せたがやくりつだいざわしょうがっこう みな
世田谷区立代沢小学校の皆さん



ワンコインクラブ 2月



オンシジウム [ラン科 オンシジウム属]

中・南米原産です。日本には明治時代にやってきました。切花は台湾での生産がとても盛んです。暖かいところが得意で寒いところは苦手な植物です。たくさんついているツボミは暖かい部屋で次々に咲いてくるでしょう。写真は台湾のオンシジウム農場です。



コテマリ [バラ科 シモツケ属]

5枚の花弁をもつ小花が手毬状に咲くことから「コテマリ」と呼ばれています。中国原産、江戸時代には日本でも栽培されました。写真の通りこんもりとした木です。



ランキユラス [キンポウゲ科 キンポウゲ属]

花びらの枚数は100~200枚以上。
 「ラナ」はラテン語で「カエル」の意味。葉の形がカエルの足型に似ていることから名付けられました。イギリスではカラスの足型に似ているとも言われます。
 * 動植物につける世界共通の名前を学名と言います。学名にはラテン語という古いヨーロッパの言葉を用います。ランキユラス、実は学名だったのです!



スイートピー

[マメ科 レントウ属]

春になると、公園や河川敷でツル状の植物に紫色の花が咲いているのを見かけます。これらはマメ科の雑草です。スイートピーも同じようにツル状に伸びるマメ科の植物ですが長さはなんと数メートルにもなります! 写真はスイートピーの畑です。

お花は日本中、世界中からやってきます。あらゆるところのお花と出会ってみよう。